

駅の美術館で 楽しむ十日間

Open Week

2015 11/14 SAT - 11/23 MON Holiday

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



TOKYO STATION
GALLERY



【休館日】会期中無休

【開館時間】10:00-18:00 ※金曜日は20:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

【入館料】一般・大学生200円 高校生以下無料

※20名以上の団体は100円引き ※障がい者手帳等持参の方は100円引き、その介添者1名は無料

【主催】東京ステーションギャラリー（公益財団法人東日本鉄道文化財団）

【企画協力】トーキョー・テンダー・テーブル株式会社

【交通】JR東京駅丸の内北口改札前（東京駅丸の内駅舎内）

100-0005 千代田区丸の内1-9-1 Tel.03-3212-2485 www.ejrccf.or.jp/gallery

本チラシはペーパークラフトになります。切ったり、折ったりすると東京駅が飛び出します！

切り線 ————
谷折り - - - - -
山折り ······



オープン・ウィーク

駅の美術館 で楽しむ 十日間

2015 11/14 SAT - 11/23 MON Holiday

東京ステーションギャラリー TOKYO STATION GALLERY

東京駅丸の内駅舎、それは100年の人々の想いを未来へと運ぶ方舟である。時代とともに変化を余儀無くされたその建築は高層化という危機にさらされながらも建物に思いを寄せる多くの人の努力によって保存復原がかなった。彼らの原動力となったのは、それぞれの人生に重ねあわされて東京駅が記憶されていたからではないだろうか。それらを拾い集め、東京ステーションギャラリーが場所の記憶を呼び覚ます舞台空間となる、十日間限定のスペシャルイベント。

本企画は、当館の教育普及活動を目的とした特別企画です。東京駅丸の内駅舎を題材にした参加型のプログラムを館内で開催します。プログラム内容は、遊びながら駅舎のカタチを知ることができるペーパークラフトや、創建当時のレンガに触れて歴史を学ぶレンガ・タッチ&トーク、駅舎の大空間を活かした五感を使うワークショップなどを実施します。各プログラムを通じて、100年の歴史をもつ駅舎の新たな魅力を見つけていきます。



Come and Join us!!

プログラム内容

※詳細は当館ホームページとFacebookページをご覧ください。

演劇公演

昨年開業百周年を迎えた東京駅丸の内駅舎の創建と同時代に発表された岸田國士の戯曲『紙風船』と『死を弄ぶ男』を劇団江戸間十畳が上演します。大正時代に書かれた戯曲は、その時代の趣と、現代につながる豊かな人間性を生き活きと映し出しています。劇団江戸間十畳は、2009年より映画監督であり演出家としても活躍する中井庸友と俳優のヨコタシンゴを中心に活動する劇団です。

劇団
江戸間十畳
edo ma jūjū

【開催日時】11月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、23日(月祝) 各日『紙風船』11:00-14:00-16:00、『死を弄ぶ男』13:00-15:00-17:00 (各回所要約40分) 【定員】各回60席(完全入替制・自由席) ※入館券は当日開催される一回分の公演観覧券となります。二回観覧をご希望の場合は、受付にて再度入館券をお求めください。

【参加方法】事前予約は受け付けておりません。当日先着順でのご案内となります

ワークショップ

※ワークショップの参加費は全て無料です。

飛び出す丸の内駅舎!メッセージカードをつくろう!

東京駅丸の内駅舎のカタチを知ることができるペーパークラフトです。建造物のカタチを切り取ることで、重要文化財である駅舎の全体像を捉え、東京駅固有の特徴を発見することができます。創建当時のレンガ壁に囲まれた空間で、じっくりと駅舎のカタチを切り取る豊かな時間を過ごしてみませんか。

※開館時間中、常時ご参加いただけます。



劇団 江戸間十畳によるワークショップシリーズ

演劇公演からのスピノフ企画!! 劇団の俳優陣が講師を務め、演劇の手法を用いた多彩な内容をご用意してお待ちしております。俳優の基礎トレーニングを基に他者との距離感や、意識と無意識から生まれるコミュニケーションの面白さを、見て、聞いて、体験してみませんか。お気軽にご参加ください。

【開催日時】11月16日(月)、17日(火)、18日(水)、19日(木)、20日(金) 各日11:00-13:00-14:00-15:00-16:00-17:00 全6回実施(各回所要約40分) 【定員】各回20名程度 【参加方法】当日先着順



東京駅丸の内駅舎の空間観察ツアー 今日だけのガイドマップをつくろう!



『視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ』とのコラボレーション企画。本企画は、視覚障害者と聴覚者が一緒にチームを組み、言葉を介してお互いに印象や感想を伝えあいながら駅舎の新たな見所を発見していくプログラムです。「みえる」「みえない」というさまざまな視点を持ち寄り、普段利用するだけの駅という空間を、立ち止まって観察し、東京駅の魅力を一緒に考えてみませんか。

【開催日時】11月15日(日)13:30~15:30、20日(金)17:30~19:30、22日(日)13:30~15:30 【定員】各回10名 【参加方法】参加希望日、氏名(ふりがな)、電話番号、参加動機、障害の有無と種別を明記の上、件名を「空間観察ツアー」とし、Eメールにてkansho.ws@gmail.comまで。〆切は開催日の1週間前とします。



東京駅丸の内駅舎の音を採取するツアー

「音」の視点で駅舎の特徴を発見するプログラムです。普段何気なく耳にしている音の世界を音楽家の視点からみつけ直すべく、作曲家でありDJとしても活躍するDatakestraこと武田直之を講師として迎えます。日常に広がる豊かな音の世界を体験してみませんか。



【開催日時】11月14日(土)、21日(土)、23日(月祝) 各日13:30~15:00、15:30~17:00 【定員】各回10名 【参加方法】参加希望日時、氏名(ふりがな)*複数名可、電話番号を明記の上、件名を「音採取ツアー」とし、Eメールにてtsg.uketsuke@gmail.comまで。定員に達し次第受付終了。申込みから3日過ぎてても返信が届かない場合はお電話ください(03-3212-2485)。

レンガ・タッチ&トーク

レンガが特徴的な当館の建物について解説するツアーです。創建当時のレンガ実物資料に触れ、レンガの壁から駅舎が辿った歴史を読み解きます。

【開催日時】会期中毎日11:30~12:00 【定員】15名
【参加方法】当日受付にて申込み



常設

丸の内ジオラマ展示

2014年12月に開催した「東京駅開業百年記念 東京駅100年の記憶」展で、鹿児島大学、京都工芸繊維大学、日本大学の学生たちが制作した東京駅創建の1914年、東京オリンピック開催の1964年、そして駅舎開業百周年を迎えた2014年の丸の内ジオラマを、当館2階の展示室に展示します。丸の内の移り変わりをジオラマで辿りながら、展示室の窓からその現代の姿を眺めてみませんか。



他にも、東京駅に関連した資料映像の上映や写真も展示します。皆さまお誘い合わせの上、ぜひお出かけください。